

学位論文中間発表会報告書

年 月 日

岩手大学大学院連合農学研究科長 殿

連合講座名 _____

実施責任者氏名(署名又は押印) _____

本連合講座では、下記のとおり学位論文中間発表会を実施しましたので、報告します。

実施年月日(時間) : 平成 年 月 日 曜日
時 分 ~ 時 分まで

実施場所 : _____

出席者 : 教員 ____名 学生 ____名

発表者学生氏名 :

実施責任者の総括的所見 :

(記入のポイント)

中間発表会の申合わせの趣旨(学位論文提出予定者に論文の課題、研究手法、論文の構成、期待される結論などを報告させ、それに対する適切な助言と指導を行うことによって、学生が水準の高い学位論文を計画的にとりまとめられるように実施する)に則った実施内容であることがわかるように、学生の発表内容、各指導教員から出された意見や助言の内容、今後の課題、等を簡潔に記入したうえで、最後は学位論文の作成が可能なレベルに達しているかどうかを判断する文章でまとめてください。

(記入例)

発表者は、〇〇の研究成果について、提出予定の学位論文の構成に沿って、データを示しながら約30分の報告の後、指導教員からの質問とアドバイスを約30分間受けた。発表内容は、公表済み1報と投稿中1報の論文の内容に投稿準備中の研究成果をあわせた水準の高いものであったが、得られたデータをさらに解析し、文献レビューをさらにすすめる必要があるとの指摘があった。質疑応答については的確にこなし、今後、指導教員のアドバイスを十分活かした論文作成が行われるものと期待される。

以上から、指導教員全員の判断として、学位論文の作成が十分に可能なレベルに達していると認めた。